

1-11	<p style="text-align: center;">どこに住んでいるか言う／結婚しているかどうか言う</p> <p style="text-align: center;">(私は福岡に住んでいます。／結婚しています。)</p>
基本文型	<p>N₁はN₂に住んでいます。 / N₁は結婚しています。</p> <p>N₁=私、彼、彼女、〇〇さん …</p> <p>N₂= [地名/場所] 日本、福岡、天神 …</p>
ポイント	<p>【文型・文法のポイント】</p> <p>* 「て形」に関しては別紙参照 (54-1)</p> <p>1. 「住んでいます」「結婚しています」で、住んでいる場所と結婚しているかどうかを述べる。</p> <p>2. どこに住んでいるか尋ねる場合は「どこに住んでいますか」「ご住所は？」など。</p> <p style="padding-left: 2em;">結婚しているかどうか聞く場合は「結婚していますか」「ご結婚は？」など。</p> <p>3. 「～ています」について</p> <p style="padding-left: 2em;">この文型では「Vています」の形で、過去にある行為が行われ、その結果の状態が残っていることを表す。例えば、「結婚しています」というのは、今結婚するという行為が行われているということではなく、過去に「結婚」という行為が行われ、その「結婚した」という状態が今も続いているということを表す。</p> <hr/> <p>【教える時のポイント】</p> <p>・ 「～ています」の大まかな説明として、動詞の「て形」＋「います」にはいろいろな意味があるので、学習者が混乱する可能性がある。ここで出されている「住む」「結婚する」「知る」は、今現在そういう状態であることを表す。(「持つ」「売る」「使う」などの動詞も同じ性質を持っている。)</p> <p>一方、学習者がよく耳にする「～ている」の形(「食べている」「走っている」)などは、今その動作が進行中であることを表すので、形は同じでも、概念が同じではないので教える側の整理が必要。</p> <p style="padding-left: 2em;">「私は福岡に住んでいる」 → 現在の状態</p> <p style="padding-left: 2em;">「妹がケーキを食べている」 → 現在進行中の動作</p> <p>・ 母国語の動詞の形から、どうしても「福岡に住みます」「結婚します」と言ってしまうことが多い。練習してわかっているつもりでも、話すときには「住んでいます」と出てこないことが多いので、何度も練習が必要である。</p> <p style="padding-left: 2em;">「私は福岡に住みます」× 「私は福岡に住んでいます」○</p> <p style="padding-left: 2em;">「私は結婚します」× 「私は結婚しています」○</p>
例文	<p>1. 私は福岡に住んでいます。</p> <p>2. A：どこに住んでいますか。 B：天神です。／天神に住んでいます。</p> <p>3. 本田さんは結婚しています。</p> <p>4. A：結婚していますか。 B：いいえ、していません(*注「いいえ、しません」となることが多い)</p>
場面	